

一般質問通告一覧

平成25年第2回島田市議会定例会
平成25年6月21日・24日・25日本会議

島 田 市 議 会

◎ 発言順位

(頁)

平成25年6月21日(金)

19番	八木伸雄	議員(一問一答)	-----	1
17番	大石節雄	議員(一問一答)	-----	2
16番	富澤保宏	議員(一問一答)	-----	3
11番	桜井洋子	議員(一問一答)	-----	4
10番	曾根嘉明	議員(一問一答)	-----	5
7番	仲田裕子	議員(一問一答)	-----	6
8番	清水唯史	議員(一問一答)	-----	7

平成25年6月24日(月)

14番	紅林貢	議員(一問一答)	-----	8
18番	藤本善男	議員(一問一答)	-----	9
12番	河原崎聖	議員(一問一答)	-----	10

平成25年6月25日(火)

9番	村田千鶴子	議員(一問一答)	-----	11
3番	横田川真人	議員(一問一答)	-----	12
1番	青山真虎	議員(一問一答)	-----	13
6番	森伸一	議員(一問一答)	-----	14
4番	伊藤孝	議員(一問一答)	-----	15
2番	杉野直樹	議員(一問一答)	-----	16
5番	山本孝夫	議員(一問一答)	-----	17

1. 19番 八木伸雄 議員 (一問一答)

市政の変革を求める多くの市民の声により、染谷市長の誕生と多数の新人議員を含め、議会も大きく変化した。私は、市民が求めている変革は、ただ顔ぶれが変わるだけでなく、行政の本質、議会のあるべき姿であろうと思っている。そうした意味においては、前市長を初めとする当局に対する批判以上に、私たち議員に対して変革を求める声は大きかったのではないかと痛感している次第である。

議会の民主主義に基づく議案審査と、そのプロセスを市民にしっかり伝えることが求められているものと認識し、襟を正し職責を果たしていかなければと痛感する次第である。

染谷市政に対しても、申し上げるべきところは申し上げ、評価すべきところはしっかり評価し、市民にわかりやすい形でのメッセージを発信する所存である。そうした観点から以下質問をする。

1. 川根温泉のホテル建設について

市長は、所信表明の中で同事業の継続と一部設計変更を示した。これは、市長の選挙公約とは相当かけ離れた内容である。私は選挙中、市民病院のジャスコ跡地移転は現状では無理があることを指摘するとともに、ホテル建設の中止や使用目的の変更は、あまりにも横暴であると訴えてきた。市長を支援する多くの市民からの批判は覚悟の上で、同事業の必要性と中止による市政への影響を考慮し理解を求めてきた。しかし、市民の皆様が理解が得られたかははなはだ疑問である。

私は、今回あえて同事業の継続を決定した市長の政治判断と勇気ある決断に対し心より敬意と感謝を申し上げ、最大の評価をする。今回の質問では中止を期待していた市民の疑問を晴らし、さらに十分な理解を得るために以下伺う。

- (1) 川根温泉のこれまでの入湯税及び市への寄付金の総額は幾らか。
- (2) お茶の郷への毎年の予算の投入額は幾らか。
- (3) 伊太和里の湯の入湯税及び運営経費の損益はどうか。
- (4) 富士山静岡空港、新東名島田金谷インターチェンジの開設により、観光開発は大きなチャンスを迎えていると考えられるが、観光産業としての同事業の果たす役割をどう考えるか。
- (5) 所信表明で述べている雇用や深刻な状況の茶業を始めとする地域経済への波及効果をどう見るか。
- (6) 川根本町との観光を軸とした連携をどのように進めようとするつもりか。

2. 今年のお茶の生産状況について

年々厳しさを増す茶業情勢の中で原発事故の風評被害から立ち直れないまま、さらに今年は大幅な収量減少と茶価の低迷から大幅な減収が予想される茶業について、その実態と支援策について以下伺う。

- (1) 今年の実産状況と凍霜害の影響をどのように把握しているか。
- (2) 茶農家の支援策について検討しているか、具体策を伺う。
- (3) 関係機関との協議をしているか。
- (4) 販売促進についての取り組みはどうか。
- (5) 東北でのお茶の販売を強調してきたが、実態はどうか。

2. 17番 大石節雄 議員 (一問一答)

1. 過疎地域対策と中山間地域の振興策について

新市長は所信表明の中で、4つの基本姿勢、市職員に対する思い「法令順守」、「融和」さらに、市長としての責務においては、強い意志をもって人材の能力を生かし、東ね、組織を動かし市を代表するリーダーであることと表現した。私は、島田市発展のために大いに期待をしたいと思う。また、様々な重要課題やそれに対する政策の方向性を述べている。しかし、この所信表明の中で全てを表現することは無理がある。そこで、過疎対策について市長の考えを以下伺う。

(1) 過疎地域自立促進計画策定に当たっての経過について

- ① 地域住民の意見、要望等、聴取する取り組みをしてきたか。
- ② 住民の意見を具体的に計画に反映する上での問題点はあったか。
- ③ 市財政面での影響、事業効果は考慮したか。
- ④ 国、県との折衝はどのように行われたか。
- ⑤ 過去の経過を踏まえ、今後の事業執行の考え方を伺う。

2. 川根温泉ふれあいの泉宿泊施設整備事業について

温泉活用の今までの実績と今後の考え方について以下伺う。

(1) 川根温泉ふれあいの泉の今までの経営状況について

- ① 川根温泉からの入湯税の総額と年平均額はどれくらいか。
- ② 川根温泉から市に対する寄付金はどれくらいか。

(2) 川根温泉と田代温泉との関係について

- ① 川根温泉の源泉を田代温泉に運ぶ経費はどれくらいか。
- ② 田代温泉で川根温泉の源泉を使うことによる田代温泉での入湯税、食堂ほかの経済効果はどうか。

(3) ホテル建設後の地域に対する経済効果について

- ① 雇用の人数と、地産地消による額はどれくらいか。
- ② 雇用拡大と地産地消以外の地域活性化は何が考えられるか。

(4) 川根温泉と宿泊施設の関係について

- ① 今後川根温泉大浴場の改修が必要になったとき、工事費、工事期間、減収見込みはどれくらいか。
- ② 宿泊施設の大浴場は、川根温泉の大浴場のかわりとしての利用は可能か。

(5) 川根温泉ふれあいの泉宿泊施設整備事業の島田市全体に対する事業効果は何か。

3. 川根小学校校舎改築事業及び川根図書館建設事業の進捗状況について以下伺う。

- (1) 川根小学校校舎改築事業の現状はどこまで進んでいるか。また、保護者や地域住民の意見を反映させることは可能か。
- (2) 川根図書館建設事業の現状はどこまで進んでいるか。また、地域住民の意見を反映させることは可能か。

3. 16番 富澤保宏 議員 (一問一答)

1. 島田市民病院の今後の計画について

- (1) 病院の建てかえ時期について、合併特例債の活用期限も考慮しているのか。
- (2) 市長のコンパクトシティーに対する考えと、市民病院の位置づけについて伺う。
- (3) 可能な限り早い時期に新たな計画を立案していきたいとは、いつごろまでを想定しているのか。
- (4) 市長の理想的病院経営とは、どのようなものか伺う。

2. 大学の誘致について

- (1) 大学の誘致に対しては、今後も継続して取り組む方向で考えているのか。
- (2) 大学誘致のメリットをどのように考えているのか。

3. がん検診におけるピロリ菌ABCリスク検診について

胃がん検診といえばバリウムを飲み、レントゲン撮影をするというものであった。

「ピロリ菌ABCリスク検診」とは、胃がん発生原因の一つとされるピロリ菌の状況などを血液検査で測定するもので、測定の組み合わせから胃がん発症のリスクを明らかにし、リスクのある人には内視鏡による精密検査を行うことで対象を絞った効率的な胃がん検診を行うことができるとされる。このリスク検診導入によって、さらに胃がんの検診受診率を高めることが可能と考えるが、導入についての考えを伺う。

4. 11番 桜井洋子 議員 (一問一答)

1. 市民病院の移転計画について

市長は所信表明の中で、「市民病院のまちなか移転計画に関しては、計画を白紙に戻すとともに、まずは今後30年先を見据えた地域医療の在り方を、市民の皆さまや医師会をはじめとする医療関係機関、現場で働く医療従事者、さらには志太榛原2次医療圏の市町などと活発に議論し合い、多角的な検討を加えたうえで、可能な限り早い時期に、規模や時期、建設地などに関する新たな計画を立案していく」と表明した。そこで以下伺う。

- (1) 市民病院のまちなか移転先を決めるために設置された「新病院建設地検討委員会」はどのようなものか。
- (2) 市民から現地建てかえの声が出ている。市が実施した現在地でのボーリング調査の結果とその評価はどうか。
- (3) 今後30年先を見据えた地域医療のあり方を議論する場の設定は、どのような方法で行うのか。
- (4) 「多角的な検討を加えたうえで」とは、何を指すのか。
- (5) 建設場所は市民合意で進めるべきだがどうか。

2. 子どもの医療費助成制度について

子育て支援策として重要な子どもの医療費の助成制度は、その対象が通院・入院とも中学3年生まで実施されてきた。しかし、島田市の助成制度の内容は県下の中でも低い水準となっている。さらなる充実を求めて以下伺う。

- (1) 平成24年度の子どもの医療費扶助額の実績について
 - ① 通院において、県費負担額、市費負担額、自己負担額は幾らか。
 - ② 入院において、県費負担額、市費負担額、自己負担額は幾らか。
- (2) 島田市は、小学生以上の医療費の支払いが入院・通院とも一旦全額自己負担し、後で助成額を超える分を払い戻してもらい償還払い制度である。医療機関の窓口で支払いが済む現物給付にすべきだがどうか。
- (3) 未就学児の入院以外は自己負担が伴っている。子どもの医療費の完全無料化を進めるべきだがどうか。

5. 10番 曾根嘉明 議員 (一問一答)

1. 市長の所信表明を受けて、以下の点について基本的な方針を伺う

(1) 「公平、公正で、市民の声が届く市政の実現」としての(仮称)まちづくり百人会議について

- ① 市長が提唱する市民参加とは何か。
- ② 百人会議は、諮問・答申、提案、意見・助言、勧告などのどれを行うのか。
- ③ 自治会・町内会組織との関係はどのように考えるか。
- ④ 過去にもいろいろな委員会が設立されたが、現在はどのような状況か。

(2) 広域行政の必要性について

- ① 消防広域化については、静岡市との広域化を今後も進めていくのか。
- ② 観光振興の広域連携は、具体的にどのような内容か。
- ③ 市内外の交流促進による地域振興イベントは、今後どのように考えていくのか。
 - ア SLフェスタ2013の、今後の取り組みについて。
 - イ 国際陶芸フェスティバルは3年間の県助成事業となっているが、継続していくのか。
 - ウ 伝統の島田大祭が本年行われるが、前夜祭など全て実施されるのか。

(3) 法令順守と融和について

現在、係争中の訴訟が幾つかあるが、どのように対応していくのか。市長の方針を伺う。

(4) 川根温泉宿泊施設について

川根温泉宿泊施設の建設については、利用内容の一部見直しを表明している。当初の観光交流を目的とした国際観光ホテルから、宿泊だけに限定せずに市民のための交流拠点施設への変更を目指すというが、以下の点について伺う。

- ① 川根温泉宿泊施設は巨費を投じる事業で、事業目的は外国人客の受け入れも視野に入れた観光滞在型施設の整備と理解しているが、市長はこの施設についてどのように評価しているのか。
- ② 市長選挙中に公約した「温泉を利用した高齢者のためのリハビリや在宅支援施設」の公約は取りやめたのか。
- ③ 多方面からの意見を聴きながら、今後の方針について検討を重ねたとあるが、多方面とはどのような組織の意見か。
- ④ 追加経費にかかわる財源はどうするのか。

6. 7番 仲田裕子 議員 (一問一答)

1. 改選後の議会に対する件について

5月に行われた島田市長、市議会議員選挙において、市長はもちろんのこと我々市議会においても大きな変化があったことは承知のとおりである。23人だった議員定数も改選前の議会において20人に見直され、市民の負託を受けた市議会議員が誕生した。私個人も再びここに立って質問ができることを、私を支えてくれた多くの後援会各位に感謝している。

さて、今改選後の新人議員も若い議員が多く、合併後の島田市議会議員3期目を迎えた私もおおいに若い力に期待するところである。6月6日に行われた定例会において、議長、副議長はもちろんのこと各常任委員会の構成も決まり、佐野義晴議長のもと島田市議会がスタートした。

染谷市長の市政もスタートしたわけであるが、所信表明を終えた島田市長の立場から見た今回の議会構成、組合議会構成等をどのように評価するか。意見、感想があれば伺いたい。

2. 地域活性化について

染谷市長においては、後援会活動また選挙活動を通じて、数多く地域の活性化について語っていた。

個人的に開いた私自身の後援会活動「染谷絹代候補者と語る会」にも快く出席くださり、金谷地区の活性化について熱く語っていただいた。

また、JA組織に対しても「農業の活性化について」の所信を文章で述べている。各地域において、染谷市政に対する期待は大きいものであり、私自身も楽しみにしている。

そこで、そのことを踏まえ幾つか質問をする。

- (1) 「JA等と連携し、市役所にお茶専門の指導員を置く」と述べたが、時期等具体的な内容を伺う。
- (2) 「島田市内の全小・中学校で茶文化教育を行い、急須によるお茶の入れ方コンテストを実施する」と述べたが、いつから、どのような形で実施するのか伺う。
- (3) 「山間地の鳥獣被害を食い止める対策を講じる」と述べたが、今ある対策以外と解釈する。その具体策を伺う。
- (4) JAに対して提出された文章には「新東名島田金谷インターチェンジ周辺は、農業振興地域をそのまま生かして活性化を進める」と述べている。また、意見交換の場においても、「農振地域見直しは行わない」と発言した。平成28年度に農振地域見直しを控える中、前市長のもと4月15日に庁内に発足した「新東名島田金谷インターチェンジ周辺土地利用推進チーム」は見直すつもりか伺う。
- (5) 国道473号バイパス及び国道1号の4車線化の進捗状況を伺う。
- (6) 「旧金谷中学校跡地については、市民病院の有力な候補地の1つである」と述べたが、今も変わりはないのか伺う。
- (7) 「金谷地域において、合併後何もよいことがないと言う金谷地域の住民の意見に十分耳を傾け、金谷地域の活性化を推進する」と述べたが、具体的な施策を伺う。
- (8) 以前、「川根温泉宿泊施設は中止し、医師を常駐させる療養型施設に変更する」と述べたが、所信表明では継続実施するとあった。そのことから「染谷マニフェスト」を変更したわけであるが、医師の常駐においても「しない」という解釈でよいのか伺う。

7. 8番 清水唯史 議員 (一問一答)

1. 今後における文化施策について

島田市総合計画に掲げる7つの施策の柱のうち「人を育て、歴史を大切に新しい文化を創造するまち」の実現をどのように図るか、以下伺う。

(1) 文化遺産を生かした地域活性化の取り組みについて

本市の宝である地域の多様で豊かな文化遺産を活用して、地域間交流の促進や地域の活性化を図る総合的な取り組みが重要と考える。以下の諸点について、所見を伺う。

① 登録有形文化財について

ア 国指定登録有形文化財の指定状況及び今後の指定予定はどうか。

イ 指定物件に係る財政支援措置はどうか。

ウ 今後の公開活用をどのように進めるか。

② 博物館資料について

ア 博物館本館、分館の収蔵資料の現況はどうか。

イ 金谷石畳茶屋ギャラリーの利活用など、博物館の分館化をどのように考えるか。

ウ 博物館本館、分館での文化活動への貸出をどのように考えるか。

(2) 市民の文化芸術活動の振興について

文化芸術振興基本法第4条では、地方公共団体の責務として「自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。」と規定している。島田市の教育に掲げる「市民の文化度の向上」を図るため、今後の施策をどのように考えているか。以下の諸点について所見を伺う。

① 市民の文化芸術活動の振興を図るための条例の制定、基本方針（大綱）の策定及び文化政策を審議する審議会の設置を考えているか。

② 市民の文化芸術活動の振興を図るため、財政支援措置の拡充、事務局体制のあり方、奨励制度の運用に係る環境整備をどのように考えるか。

③ 自主文化事業、博物館事業及び文化財公開活用の一体的な推進をどのように図っていくか。また、地域・民間団体との連携をどのように図っていくか。

④ 他地域や海外都市との文化交流の促進をどのように図っていくか。

8. 14番 紅林 貢 議員 (一問一答)

1. 島田市最終処分場問題と阿知ケ谷の旧清掃センターの処理について

- (1) 山田町、大槌町の災害廃棄物の受け入れ総量は何トンだったのか。
- (2) 災害廃棄物処理に伴い発生し、谷口の最終処分場へ搬入した飛灰の量は幾らか。
- (3) 現在の最終処分場の状況はどのようなようであるか。
 - ① 処分場及び周辺の放射性物質の測定値はどうか。
 - ② 処分場からの排水及び地下水の測定値はどうか。
- (4) 係争中の谷口最終処分場の反対地権者への対応を今後どのように考えていくのか。
- (5) 新たな最終処分場を確保するに当たっての方針は考えているのか。
- (6) 熔融炉を稼動して以来放置されている阿知ケ谷の旧清掃センターについて
 - ① 現状を伺う。
 - ② 解体処理を行うべきであると思うが見解を伺う。

2. 島田市の土地利用と農業振興について

- (1) 国土利用計画に基づいたものであろうが、島田市の土地利用の基本的な考えを伺う。
- (2) 企業誘致について
 - ① 特定の地区、場所を考えているのか。
 - ② 現在企業からの引き合いはあるのか。
 - ③ 農振除外についてどのような考えを持っているのか。
 - ④ 土地所有者にはどのような考えを持って臨む方針か。
- (3) 島田市の農業振興について
 - ① 島田市の農業の現状をどう捉えているのか。
 - ② 島田市の農業振興への方針を伺う。

9. 18番 藤本善男 議員 (一問一答)

1. 今後の市民病院の経営について

市長の所信表明によれば、市民病院のまちなか移転計画は計画を白紙に戻し新たな計画を立案することのことだが、以下について市長の所見を伺う。

(1) まちなか移転計画の白紙化について

- ① 計画を白紙とする理由は何か。
- ② 島田市まちなか集積医療基本構想の問題点は何か。

(2) 病院建設に関する新たな計画の立案について

- ① これまでに立案された島田市総合計画や病院経営に関する計画等は、どの程度尊重されるのか。
- ② 今後30年先を見据えた地域医療のあり方を、関連部署とどのように議論するのか。
- ③ 新たな計画はいつごろをめどに立案するのか。

(3) 医療従事者の確保等について

- ① 医療従事者不足の現状をどのように認識しているか。
- ② 医療従事者不足への具体的な対応策はどうか。

2. 雇用機会の確保について

市長は、高速交通結節点という優位性を積極的に押し出し、今後全国の企業へ立地を働きかけるとのことだが、雇用機会の確保について、以下伺う。

(1) 企業誘致について

- ① 高速交通結節点として優位性のある土地とは、具体的にどのような地域を考えているか。
- ② 企業誘致に対する働きかけは、どのように行っていくのか。
- ③ 企業誘致の課題は何か。

(2) 既存企業の事業継続について

- ① 新たな企業を誘致する一方、既存企業の事業継続が求められるが、市の取り組みはどうか。
- ② 事業継続が困難となった土地の有効活用について、市の取り組み状況はどうか。

10. 12番 河原崎 聖 議員 (一問一答)

1. 所信表明を受けて

(1) 自治基本条例について

- ① どのような内容にしたいと考えているか。
- ② 今後のスケジュールについて伺う。

(2) 財政について

- ① どのように改善したいと考えているか。
- ② 公共施設白書や事業仕分けについては実施する考えはあるか。

(3) 総合計画後期基本計画について

- ① これまでの内容で見直すべきと考えている点はあるか。
- ② アンケートや市民対話などでポイントとなる点はあるか。

(4) 新病院建設について

- ① 今後どのような検討をする考えか。
- ② 旧ジャスコ跡地の利活用について、市としての考えはあるか。

(5) 広域行政について

- ① 具体的な取り組みとして考えていることはあるか。

11. 9番 村田 千鶴子 議員 (一問一答)

1. 後期基本計画の策定について

先の所信表明の中で、本年度が島田市総合計画後期基本計画の策定の年に当たり、来年度を初年度とする5カ年計画を策定していくとのことである。この中で、個別施策や事業に関する方針や考え方を提示し、これまでに実施が決定されていた施策や事業等も見直した上で、後期基本計画に位置づけると述べた。本市の上位計画である島田市総合計画の見直し等は、他への影響も懸念されるため、以下について所見を伺う。

- (1) 計画の見直し、策定のスケジュールはどのようなものか。
- (2) これまでの施策や事業について方針を変更する場合、どのようなプロセスをとって行うのか。
- (3) 市民アンケート調査や市民との話し合いを行うとあるが、平成25年度の中では時間的に無理ではないか。
- (4) 過疎地域自立促進計画や新市建設計画の取り扱いをどうするのか。
- (5) 市長の公約の具現化に向け、後期基本計画の中に盛り込むべき事業はどのように考えているのか。
- (6) 公約に「子供を生み育てたい環境整備の充実」と掲げているが、具体的な施策の内容はどうか。
- (7) 公約に「地域を結ぶ福祉タクシーの運行」と掲げているが、具体的な施策の内容はどうか。

2. 新市民病院について

市長はまちなか移転計画を白紙に戻し、今後30年先を見据えた地域医療のあり方を含め、可能な限り早い時期に規模や時期、建設地などに関する新たな計画を立案すると述べた。今回の選挙戦の一番の焦点であり、市民生活に直結した極めて重要な課題であるため、病院開設者としての所見について以下伺う。

- (1) 市民病院を取り巻くハード面、ソフト面の現状をどのように認識しているか。
- (2) 建設地に関し、現在地への建てかえを前提とするのか。まちなか以外への移転もないのか。
- (3) 今後の建設に向けた検討のスケジュールはいつ示すのか。
- (4) 総合病院として維持すべき機能や診療科目の検討とあるが、既定方針自体も見直すのか。

12. 3番 横田川 真人 議員 (一問一答)

1. 情報通信の地域格差について

- (1) 島田市内にはインターネットの光回線が通っているところと通っていないところがある。ケーブルテレビについても同様である。現状はどの地域に通っているのか。また、通っていないところの状況はどうか。
- (2) 今後の予定はどのようになっているか。

2. 防災対策について

- (1) 近年大型の台風が静岡県に直撃することがふえている。今までになかった被害がふえているが、対策はどのようにしているか。
- (2) 緊急時の通信手段はどのようなものがあるか。
- (3) いざというときの自衛隊との連携はどのようにするか。

13. 1番 青山真虎 議員 (一問一答)

1. 防災対策について

- (1) 市職員の年間研修時間と、その研修時間のうち防災研修は何時間で、課外研修が可能か伺う。また、小・中学校教員の研修は年間何時間で、そのうち防災研修は何時間あり、課外研修は可能か伺う。
- (2) 東海地震発生後の島田市民の想定避難者数は何人か。
- (3) 物資備蓄量について、災害に備えた物資の備蓄量とその品目で、何日間の避難生活が可能か。
- (4) 指定されている避難所で耐震診断をしていない避難所はどこか。また、診断の結果耐震化が必要となった避難所はあるか。
- (5) 避難可能場所について、無指定ではあるが避難可能である場所はどこか。
- (6) 市民病院の救急外来について、市民が電話で問い合わせをした際、他病院の紹介状の有無を聞かれたことで通院を取りやめた患者がいる。救急は紹介状が不要と聞いているが質問するのはなぜか。また、災害後も随時その質問をするのか。
- (7) 災害により近隣市町だけが被災した場合の被災住民の受け入れ可能人数と、その計画を伺う。

2. 広域連携について

- (1) 防災等で現在連携している市町と、今後連携していきたい市町村はどこか。
- (2) 近隣市町への責任（絆）として、島田市は何を行っているか。また、今後何を行っていくか。

(例：焼津市の漁業＝島田市は森林涵養に努めている等)

- (3) 川根温泉ホテルの年間宿泊予定者数と、川根本町の寸又峡、接阻峡の年間宿泊者数を伺う。また、川根温泉ホテルができることで川根本町の観光業に与える影響について伺う。

3. 未来への責任について

浜岡原発についての対応を今後島田市としてどのような方向性にしていくべきなのか伺う。

14. 6番 森 伸一 議員 (一問一答)

1. 市政運営の基本姿勢について

市長は先日の所信表明で基本姿勢や重要な政策課題に対する方向性について述べたが、これについて以下伺う。

- (1) 前市政が進めた施策や事業について、考え直すべきものについては見直していきたいと述べたが、具体的にはどのような場をつくり進めるつもりか。
- (2) 川根温泉宿泊施設について3つの理由を上げ、一部見直し事業を継続すると述べたが、3つの内容は選挙前から予想できたことで、「利用内容の見直し」という公約を変えたさらに別の理由や検討項目があったのか。
- (3) 市民病院の移転とセットで出てきた大学誘致について、大学との話し合いはどうなっているか。
- (4) 浜岡原発の扱いに関して慎重に判断せざるを得ないと述べているが、再稼働に対する意思表示も含め市として今後どう進めていこうとしているか。また、原発そのものについて市長はどんな考え、捉え方をしているか。
- (5) 廃プラ訴訟関係と旧ジャスコ跡地の市税不納欠損処分に関して、島田市が桜井勝郎氏に賠償請求をするよう訴えた裁判が現在行われているが、今後どのような対応をしようと考えているか。

2. 島田市の自然・文化財産の活用について

- (1) 島田市には数多くの文学碑が建てられているが、残念ながら放置されたままになっている。このような埋もれた文化財を再発掘し、観光や教育に生かすような手だてを行うべきだと思うがどうか。
- (2) 名誉市民条例第3条に「事績を顕彰する」とあるが、具体策について以下伺う。
 - ① 森昌也さんが集められた書籍や資料を市として整理保管し、後生に活用できる準備をすべきだと思うがどうか。
 - ② 清水真一さん、森昌也さん、お二人の名誉市民の業績紹介を富士山静岡空港展示コーナーの一画を利用して行ったらと思うがどうか。
- (3) 南アルプスジオパーク構想についての協議会に静岡県では静岡市と川根本町が参加している。島田市も協議会に参加を検討すべきだと思うが、市はどのように考えているか。

15. 4番 伊藤 孝 議員 (一問一答)

1. 市長の「私の約束」について詳しく伺う。

- (1) 「ボランティア・NPO団体の活動拠点の整備」について
 - ① 基本方針について。
 - ② 活動拠点を新たに建設する予定があるのか。
 - ③ 市内にそれぞれどれくらいの団体があるのか。
- (2) 「地域のスポーツ活動団体の支援を強化」するための対策について
 - ① 各団体の財政面・ハード面の支援の現状はどうか。
 - ② 総合型地域スポーツクラブ数の現状はどうか。
- (3) 「教育力の向上、教育環境の充実」について
 - ① 基本方針について。
 - ② 学校施設で補修、新設、増設の必要などころはあるか。
 - ③ 教員から要望はあるか。
- (4) 「子どもを産み育てやすい環境整備」について
 - ① 基本方針について。
 - ② こども医療費助成制度の償還払いの課題は何か。
 - ③ 児童センターの設置基準はあるのか。

2. 公園の現状について

- (1) 中央公園の利用状況について
 - ① ローズアリーナの利用状況はどうか。
 - ② アスレチック広場の遊具、ミニ鉄道の利用状況はどうか。
- (2) 公園ガイドマップ作成の目的は何か。

16. 2番 杉野直樹 議員 (一問一答)

1. 新東名「島田金谷インターチェンジ」周辺の開発に関する、今後の染谷市政の方向性について

市長の所信表明の中に高速交通結節点という言葉が記載されていた。そして結節点となるこの条件が整った地域に企業を誘致したいという意味が記載されていたが、市民の中には企業誘致を望んでいない方もいるようである。そこで以下の質問をする。

- (1) 今後インターチェンジ周辺の開発について、具体的にどう考えているか伺う。
- (2) 特区申請について市の方向性を伺う。
- (3) インターチェンジ周辺の開発について、市民の声をどのように反映させるか伺う。

17. 5番 山本孝夫 議員 (一問一答)

1. 島田市の将来像について

6月7日議場において染谷市長の所信表明が行われた。その中で4つの基本姿勢がそれぞれ述べられ、さらに、後期基本計画を策定しながら現在処理が迫られている案件についての対応が示された。

これらにより染谷市長の行政手法について承知した。そこで、以下の事項について伺う。

- (1) 島田市が将来どのような姿の市になることを目指していくのか、市長のビジョンは何か。
- (2) 公平公正を基本とする市長は、金谷庁舎の跡地利用についてどのような利用を考えているか。

2. スポーツ振興と健康づくりについて

所信表明において、市長が、「集客を目的とした事業から10万余の市民のための施策を実行することが市政運営の大原則との考え」とであると理解している。

そこで、以下の事項について伺う。

- (1) 国においては既にスポーツ基本法が施行されている。この内容はどのようなものか。
- (2) 島田市におけるスポーツ基本計画があれば、その内容はどのようなものか。
- (3) 健常者だけでなく障害者、障害児へのサポートも必要と考えるがどうか。
- (4) 主に中高齢者を対象とした健康づくりの施策は、どのようなものが計画または実施されているか。